



# 校長室だより

令和3年  
1月26日  
NO. 8

## 緊急事態宣言を受けて！

コロナ感染拡大を受け、再び愛知県に緊急事態宣言が発令されました。これを受け、本校ではメール配信でお知らせしたとおり、授業参観や体育館で行われる行事等については、見合わせることにしました。「かるた取り大会」については、冬休みから準備をして楽しみにしていた子供たちも多いことから、緊急事態宣言が解除されたところで実施したいと考えています。通常授業や外の行事（炭焼き窯出しやなわとび大会等）については、感染防止対策をした上で実施していきますのでご理解ください。今後、緊急事態宣言が延長された場合も同様の対応をとっていきます。具体的にはその都度学校配信メールでお知らせしていきますのでご確認ください。

まだまだ感染者が増えている中、秦梨小も例外ではないと危機感をもっています。絶対に避けなければいけないのは、学校でクラスターが発生してしまうことです。教職員には、本人はもちろん同居する家族に体調をくずす人がいる場合は休むように指導していますが、子供たちについても同様に心配される状況があるときは必ず学校（担任）にご連絡いただけるよう、再度お願いいたします。

### 今年の炭焼き（窯出し）

本校の特色ある活動の一つとして「炭焼き」があげられます。今年度も、山仕事のサポーターの鈴木宣行さん、川澄善久さんのお世話になり、十八日に「窯入れ」（火つけ）が行われました。そして、子供たちは二十一日の一時間目に行われた「窯出し」に参加しました。

今年は、途中で異常燃焼が起こるというアクシデントがあり、窯の一部が破損してしまいました。時間をかけて状況を見て安全上の問題はないことが確認できたので、予定通り三日後の二十一日に、全校児童で「窯出し」を行うことにしました。

異常燃焼の原因については究明中です。原因が分かったところで、山仕事のサポーターの方々と相談して窯の破損部分の補修をしていく予定です。

したがって、今年度は二回目の「炭焼き」を中止することにしました。今後、安全性を最優先に考えて「炭焼き」活動を続けていきたいと考えています。



# ササユリ咲かそうプロジェクト

本校は、20年前から「里山再生活動」の一環として「にこにこ山」（本校に隣接する裏山）でのササユリの保護活動に取り組んできました。

ところが近年、獣害や日光不足等による「にこにこ山」の環境変化により、年々ササユリが咲かなくなってきていました。そしてとうとう今年度は一輪も咲きませんでした。ササユリをよく知る方々に相談すると、現況での再生は難しいとのことでした。日のあたる場所への培養地の移設も検討しましたが、子供たちがもっとササユリの保護活動に積極的にかかわれる体制を整えることがまず重要であると考えました。

そこで、今後しばらくは鉢植えによる栽培に取り組むことにしました。鉢植えであれば、校内で日常的に世話や観察ができるからです。そして、いずれ「にこにこ山」での栽培を復活できればと考えています。ササユリの鉢植え栽培は難しいことだそうですが、地元の方々や岡崎市農業支援センターのアドバイスも受けながら取り組んでいきます。日常的に世話や観察をすることで、子供たちがササユリを身近に感じてほしいと願っています。

活動の主体は環境委員会と5年生にお願いしました。環境委員会の子供たちは、担当の坂井先生と相談しながら、さっそくこの取り組みを「ササユリ咲かそうプロジェクト」と名付けて活動を始めてくれました。農業支援センターのご協力により、質のよい球根も分けていただきました。5年生の意見を尊重して、購入資金の一部として「もち米」の収益金も充てさせていただきました。これまで本校が大切にしてきたササユリの保護活動をこれからは、こうした形で継承していきたいと思っています。



<環境委員会制作のパネル>

10月の「校長室だより」でもお知らせしましたが、今年度の5年生の総合的な学習は「もち米づくり」に終わらず、収穫できた「もち米」を販売しその収益金を有効に使うところまでを学習ととらえて活動を進めてきました。学芸会で来校してくださった保護者の方々のお陰で、今年度も「もち米」は完売しました。改めてご協力に感謝いたします。

子供たちは、収益金から必要経費を差し引いたお金を「秦梨小のために・・・」という発想のもと使い道をいろいろと検討してくれました。その結果、花の苗を購入して学校環境をより明るくすることを考えてくれました。5年生の子供たちがいろいろな苗をプランターや鉢に移植し校内のあちこちに設置してくれています。きっと春にはそれぞれの苗が育ち美しい花を咲かせてくれることでしょう。今から楽しみにしています。